

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103177
法人名	株式会社 モロコケア
事業所名	じゃんけんぼん
所在地	松山市古川北3丁目12番29号
自己評価作成日	平成22年8月10日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年9月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が入所される前と同じような馴染みの生活が送れるよう、気をつけている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

共用空間は、観葉植物等の緑を多く配し、絵画や装飾品が飾られており、掃除をこまめにされて清潔にされている。さらに、居間から中庭のテラスが見え、ベランダも大きく取っており、窓を開けて開放的にされている。「皆の声が聞こえる場所で横になりたい」と利用者の方からの希望があって、居間にベッドを置いておられるユニットもある。中庭のテラスには、テーブルが置かれており、段差がなく車椅子を使用している方も出やすくなっている。
ご本人・ご家族の希望もあって、職員も同行して、3人で東京までお墓参りに出かけられ、ご本人・ご家族とも喜ばれたようである。写真を大きく引き伸ばして居室に飾っておられた。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目: 28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームじゃんけんぼん

(ユニット名) グーユニット

記入者(管理者)

氏名 今村 タマキ

評価完了日 22 年 8 月 10 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念は地域密着型になる以前の理念の為、地域密着型にはなっていないが、「尊厳と安らぎの家」になるように取り組んでいる。	
			(外部評価) 開設時作成した理念「ひとりひとり尊重され 健康で安全と自由がありお互いに支えあいながら 明るく楽しく生活ができる安らぎの家」を居間に掲示して「利用者個々のご自宅で居た時のような自由な暮らし」を支えられるよう努力されている。ケアマネージャーは「利用者のご自宅で居た時のように近所の方や社会との接点を作っていきたい」と話しておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の方がいつでも出入り出来るように玄関は開けている。	
			(外部評価) この一年の中で、地区内の方の入居があり、ご家族等を通じて地域の方とのつながりができてきたようである。7月に事業所で行った「七夕祭り」や9月初めに行った「夏祭り」には、民生委員の方やご近所の方、地区内外の他グループホームの方達にも参加いただいた。今後、行事担当の職員を中心に、地域の幼稚園との交流もすすめていきたいと考えておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 利用者の家族の面会はあるが、地域の方との交流はあまり無い為、認知症についてはあまり理解していないと思う。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>会議で出た意見などについては、必ず文書にして全職員が目を通すようにしている。その上で話し合いをし、次の取り組みを行っている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>会議では、外部評価結果について説明されたり、消防署の方が来られて、心肺蘇生法の講義や実技が行われたこともある。今年度は、七夕祭りや夏祭りと合わせて会議を行い「参加しやすい会議」の開催をすすめておられ「日頃から地域の方達の協力を得られるような関係を作っていきたい」と取り組んでおられる。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>管理者や介護支援専門員がしているのでわからない。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、市の担当者から感染症等「事業所で気を付くこと」を説明していただいた。石井地区のグループホームが集まる連絡会が4カ月に1回開催されており、それぞれホームごとに事例を持ち寄り意見交換されたり、認知症等の勉強会をされている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束についての説明があり、全職員はそれを理解してケアに取り組んでいる。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、事業所の入り口やユニット出入り口等は開いていた。利用者の中には医療行為の必要な利用者もあり、ご本人がチューブを抜いてしまうような方には、職員が手作りした手を覆うものを付けてもらっている。又、転倒を防ぐため、ご家族のご希望もあって寝る時だけベッド柵を使用している方もあるが、職員は日々、ご本人の自由を考えて話し合いを重ね、方策を探っておられる。事業所は「利用者の安全と自由」を大切にするホームであり、今後さらに「拘束のないケアの実践」に向けて、職員・ご家族と一緒に、拘束やリスクについて学ぶような機会を作ってみてはどうだろうか。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止などについて学ぶ機会は無いが、利用者に対して虐待がないかは、職員で話し合っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 運営推進会議で勉強会はしたが、あまり理解できていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約については説明を受けていないのでわからない。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族より要望があった時には、その都度職員で話し合っている。 (外部評価) 年1回の家族会はユニットごとに行っておられ、それぞれのユニットの生活の様子等を報告して、ご家族の要望等をお聞きしている。又、ご家族の来訪時に直接、ケアマネージャーに意見を出されるご家族もある。ご家族から職員の言葉遣い等についてご意見をいただいた際には、職員と接遇について話し合われた。さらに事業所は、ご家族から「ご意見をいただいたり、気付いたことを言ってもらおう」ことをきっかけにして、事業所をさらによくしていきたいと考えておられる。	ご家族の中には、外出や食事、入浴の支援、職員の利用者への対応等、希望や気になること等がある方もいるのではないだろうか。ご家族が話し出しやすいような雰囲気作りへの配慮や、ご家族から意見を出してもらいやすいような具体的な質問の工夫等、さらにご家族の声を多く聞くことができるよう取り組みを工夫してみてください。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			運営に関することは何も聞いてない。	
			(外部評価)	
			この一年で、行事等の担当職員を決めて、責任を持って運営にかかわることができるような仕組みを作られた。それぞれが企画して取り組みをすすめるようになっている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			勤務状況はあまり代表者は把握していない。向上心はもてない。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			一人ひとりのケアの実際と力量は把握できていないと思うし、研修などの機会がない。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			同業者との交流はない。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用者の話を良く聞いて、安心出来るようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	
			<p>まだ対応したことがないが、開始する段階で関わる事があれば、良い関係作りができるよう努力したい。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>必要としている支援を本人、家族さまから情報を得て、スタッフ間で話し合いその時にあった支援を行えるようにしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>利用者様の話を聞いたり、野菜をスタッフ、利用者様と一緒に作ったりして、よい関係を築いている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>家族様が面会に来られた時に利用者様の变化や近況報告などを行っている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>いつでも面会に来ていただけるようにしている。</p>	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 孤立しないように声かけを行っているが、拒否されることもある。また毎月席替えをし、利用者同士の関係の緩和をしている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 電話などで必要に応じて情報交換している。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 希望を第一に考え、ミーティング等で話し合っているが出来ることが多く難しい。	
			(外部評価) 現在、介護度重度の利用者も数名おられ、職員の人手のこともあり、利用者によりかかりかかわることがむずかしいようだ。職員は、かかわりの少なくなっているような利用者には、そっとボディータッチする等、スキンシップにも努めておられる。台所には「私語をせず利用者とかかわりましょう」と注意事項が記されていた。	職員は「もっと利用者とお話しする時間を作りたい」と思っておられる。又、「利用者の思いを尊重したい」とも話しておられた。さらに「利用者はさみしいのではないか」とも考えておられる。さらに利用者個々の思いや意向を把握できるよう、今後、アセスメントに取り組み「利用者個々が尊重され、明るく楽しく生活できる」という支援に向けて介護計画につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者、家族さまから話を聞いたりアセスメント用紙などを参考に把握できるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日誌に記録し、少しの変化でも申し送りなどでスタッフ間で共有し、把握するように努めている。	
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ミーティングにて課題となっている問題点の解決方法を考え、ケア計画を立てる。	
			(外部評価) 3か月ごとに介護計画の見直しを行うようになっており、ご家族の来訪時に要望をお聞きしたり、ユニットごとに計画作成担当者と職員で「利用者の気持ちになって」「本人らしさを大切に、又、ご本人のできることを維持できるよう」話し合って計画を作成されている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 1日1日の行動や出来事を日誌へ記入し、申し送りの時に報告する。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 併設のデイサービスのレクリエーションに参加したり、外出時に一緒に参加したりしている。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりに合ったケアを行い、利用者さまの生活ペースを保てるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
				通院や往診時に指示をしていただく。
			(外部評価)	
				入居時にかかりつけ医の希望を聞き、受診や往診等を 支援されている。事業所では、入居時に決めたかかり つけ医についても、希望を再度聞いてみる機会を作っ ていきたいと考えておられた。
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
				体調の変化などがあれば相談し、適切な指示を頂く。
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
				看護師や介護支援専門員が行っている。
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
				主治医や看護師などが家族に説明を行い、納得された 上でケアにあたっている。又、スタッフ全員も理解し ている。
			(外部評価)	
				この一年間、利用者の看とりを複数件経験され、看と り支援の意義は感じておられるが、介護度が軽度の利 用者の楽しみごとの支援等への手不足も感じられたよ うである。又、事業所で最期まで支援される場合の、 ご家族の協力の必要性も感じておられた。重度化や看 とり支援等については、ご本人の意向も大切にされ、 ご家族の不安や心配なことについてもゆっくり時間を かけて話し合い、協力や理解を得て支援に努力してい かれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 毎朝バイタルチェックをし変化があれば看護師、医師に連絡し指示を仰いで対応している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は年2回行っている。当日休みのスタッフも参加するよう努力している。地域の協力体制については把握していない。 (外部評価) 3月には消防署の方の協力を得て、通報訓練や水消火器を使って消火訓練を行われた。又、利用者と一緒に避難する訓練を行い、消防署の方から出火場所によって避難経路等を変えることについてアドバイスをいただいた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 居室へ入る時は必ず声をかけるようにしている。寝たきりの方の部屋は出入口を開けているので、目隠しのためにのれんをしている。 (外部評価) ケアマネージャーやユニットリーダーは「笑顔」の大切さを職員に話しておられる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 会話を求めているときには耳を傾ける。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	食事、おやつなど決められた時間以外は自由に過ごして頂き声かけ、見守りを欠かさないよう注意している。入浴は利用者の気分や希望に沿って日や時間をずらしている。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	利用者の意思に任せている。季節に合わない服装なら助言をする。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	誕生日と日曜は入所者の方より食べたいものを聞き、メニューを決めるようにしている。準備や片付けなどの軽作業を一緒にしている。
			(外部評価)	
				職員と食材の買い物に行かれたり、時には、野菜の下ごしらえ等をしてくださる利用者もある。ユニットによっては、一日の水分摂取量を決めて、職員が気を付けて勤めておられる。又、「いただきます」と挨拶をしてくださる利用者を順番に決めておられるユニットもあり、職員も一緒に挨拶をして同じ食事を食べておられた。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	食事は完食していただくよう声かけを欠かさない。水分摂取量の少ない方には、ジュースやコーヒーなどを少しでも多く飲用していただけるよう努力している。
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	寝たきりの入所者に対しては、一日に何度か必ず口腔ケアを実施している。自立している入所者に対しては、毎食後必ず声かけを行っている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 自立できている利用者様が殆どいないので、常に声かけや見守りをしている。中には二人介助を必要とされる方もおられる。	
			(外部評価) 排泄の記録を付けて、声かけやトイレへの誘導をされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分や食物繊維を摂取するよう説明を行って、排便排尿の量や回数のチェックを細かく記入している。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 体調に合わせてバイタルチェックなどを行い、入浴前後にも行っている。中にはシャワー浴の方もおられるので申し訳なく思っている。	
			(外部評価) 介護度が重度の方は、シャワーをされたり、職員が体を拭く等、清潔を保てるよう支援されている。又、利用者が入浴される時、職員は「焦らすことのないよう」なかかわり方に心がけておられる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 利用様の睡眠の妨げにならないよう訪室し、温度計をチェックしたりエアコンをかけたり、窓を開けたりして心掛けている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 各個人に対する用法容量を医師や看護師の指示のもとで把握しているが、理解できない時には再確認している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 其々の方が役割分担しにくくなっているが、出来る方に関しては支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 戸外に一人で出かけられない方ばかりで日常的には外出は難しいが、季節的な外出はしている。	
			(外部評価) 中庭のテラスに出られ、プランターの野菜の世話をされたりお茶を楽しまれている。又、職員と食材の買い物に行かれたり、ご家族と一緒に出かける方もある。ユニットによっては杖ノ淵公園へドライブにも行かれた。入居間もない利用者が「行きたいところがある」と外に出られる時には「できる限り」職員が同行されている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理のできる方があまりおらず、施設のほうで金銭管理をしている。買物を頼まれた時に個人よりお金を頂いている方もおられる。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話をかけたいとの訴えのある方には、職員が代行してかけたりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>利用者様の目線でトイレ、洗面所に目印をつくり誘導している。居室には温度計を置き温度管理をしている。ドアの前にはのれんを掛け、プライバシーを守っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間は、観葉植物等の緑を多く配し、絵画や装飾品が飾られてあり、掃除をこまめにされて清潔にされている。さらに、居間から中庭のテラスが見え、ベランダも大きく取ってあり、窓を開けて開放的にされている。「皆の音が聞こえる場所で横になりたい」と利用者の方からの希望があって、居間にベッドを置いておられるユニットもある。中庭のテラスには、テーブルが置かれてあり、段差がなく車椅子を使用している方も出やすくなっている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>自室で昼寝や新聞を読んだり、好きなテレビをみたりして自由にされている。気の合った利用者様同士で自由に行き来しておられる。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ご自分が使っていたタンス、着慣れた洋服などを持って来られている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室にご家族のお位牌を置き、ご家族が持って来られる果物等のお供えをされている方もあった。ご自分が床の拭き掃除等される方もあるが、職員が気を付けて清潔に保てるように掃除をされてる。ご家族が誕生日に贈ったプレゼントや写真を飾っておられる居室もあった。又、畳のお部屋もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>環境整備に気を使いながら、余分なものは置かないようにし、転倒防止に気をつけている。</p>	